

すくすく育って大きくなーれ！

坂崎小学校 田植え体験

5/8

田植え体験の授業が坂崎小ふれあい農園で行われました。坂崎小の5年生の児童が田んぼに並んで、苗を3、4本ずつ植えていきました。途中バランスを崩して田んぼの中で尻餅をついてしまう子も…。でも泥だらけになってもそんなのおかまいなしで元気いっぱいでした。この田んぼを管理する齋藤さんは、去年は例年より収穫量が多かったのでもっと上手くいけば期待できそうとおっしゃっていました。今年も収穫が多いといいですね。



▲一列になって田植えをしています



▲泥まみれになりながら植えました

カンボジアでの思い出

高校生カンボジア支援ツアー報告会

5/9

カンボジア支援ツアー（幸田ライオンズクラブ主催）の報告会が町長室で行われました。このツアーは、今年の3月に実施され、幸田高校生3人が参加しました。報告会では、現地の小学生との運動会や交流会などの写真を持参し説明しました。「子どもたちの笑顔が素敵だった」や「時間がゆっくり進むように感じた」などの感想を述べられました。なお、本年度は、幸田町在住高校生を対象として参加者を募集しています（7月14日まで）。



▲写真をいっぱい広げて説明しました



▲旅の思い出には笑いが絶えませんでした

野菜を育てて食べよう！

幸田町の野菜摂取量向上大作戦！

5/9~11

子育て世代への野菜摂取量向上の取組みの一環として、坂崎保育園、大草保育園、くりくり広場にて親子で野菜を楽しく食べてもらうこの企画。こうた食生活改善ボランティア自らが愛情を込めて育てたプチトマトの苗の配布を行い、苗の植え方、育て方を伝えました。大草保育園では、17組の親子が参加し、実演を交えた野菜の育て方の説明に子育て中のお母さんも熱心に耳を傾けていました。



▲苗の植え方を教えてもらいました



▲苗を配布する様子

まちがと

身近な情報を広報へ

素敵な演奏をありがとう

幸田高校吹奏楽部演奏会 in 深溝保育園

5/19



幸田高校吹奏楽部が深溝保育園を訪れ、出張演奏会を行いました。ボランティア活動で町内の保育園などを回って演奏活動を行っている幸田高校吹奏楽部。この日は園児たちにおなじみの童謡やアニメの曲が演奏されました。アンコール曲のリクエストでは多数決で女の子向けのアニメの曲が選ばれ、リズムに乗って手拍子をしながら歌詞を口ずさむ園児たちの姿が見られました。最後はみんなで記念撮影をして楽しい演奏会の思い出を写真に残しました。



▼演奏を披露した幸田高校吹奏楽部
◀「演奏会楽しかったよ！」

みんな全力を出し切りました

町内小学校区運動会

5/20、27

町内各小学校区の運動会が開催されました。中央小学校では、徒競走で一番にゴールテープを切ろうと最後まで全力で走り抜ける児童たち。リレー形式で行われた親子競技では、我が子と一緒に笑顔で楽しむお父さん、お母さんの姿が見られました。紅白対抗種目の大玉送りでは相手よりも早く送ろうと大玉に手を伸ばして勢いをつけながら、楽しそうに競技をしていました。豊坂小学校では、5・6年生の組体操がひと工夫されていました。色手袋をはめた手をゆらゆら動かし、花が咲き渡る様子を表現していたり、支えてくれる児童の上に立ち、後ろに倒れた後起き上がることで波打つ様子を表現していました。他には地区対抗リレーなどがあり、最後は全校児童と保護者が一緒になって、毎年恒例の「新幸田音頭」を踊りました。



①徒競走 ②親子競技の様子 ③大玉送り (①～③は中央小学校)
④組体操 ⑤新幸田音頭 (④、⑤は豊坂小学校)

フォトニュース

広報直通ダイヤル(63) 5132
FAX(63) 5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

まちがと

交流90周年の節目の年

親善人形友の会シンポジウム

5/21

中央公民館ホールで日米親善人形交流90周年シンポジウムが開かれました。人形交流は、1927年にアメリカから青い目の人形が贈られ、それに対して日本が答礼人形を贈ったことから始まりました。シンポジウムの前半では4人のパネリストが講演をし、後半のパネルディスカッションでは参加者が意見や質問などを交わしていました。ホールの後方には贈られてきた人形3体が展示され、交流の歴史を感じさせてくれました。



▲講演の様子



▲西三河の青い目の人形

東海で唯一、幸田の温室モモ

温室モモの出荷

5/22

町内で生産している温室モモが収穫されました。温室モモの生産は全国的にも珍しく、普通のモモより収穫時期が早いのが特徴です。今年は春先の気温が低かったため例年よりやや遅めの収穫となりましたが、大きさも程よく、さっぱりさわやかな味のモモが採れました。温室モモを育てている加藤伊七さんは、ハウス内の温度管理や剪定作業が大変だと話してくれました。このモモは名古屋などへ出荷されました。



▲夫婦で仲良く収穫



▲色や大きさにモモを選別しています

川に飛び込み男児救出

人命救助に対する感謝状の贈呈

5/25

幸田町消防本部消防長室で、感謝状の贈呈式を行いました。5月4日に兄弟で尾浜川で遊んでいる中、弟が誤って転落し、兄は弟を助けようと試みるも叶わず、近隣に助けを求めました。杉山峰子さんは、自宅庭で作業中、男の子の助けを求める声が聞こえたため、その方向に走っていくと、川底に男の子がうつ伏せで沈んでいるのを発見し、川に飛び込んで男の子を川から救出しました。勇気をもって川の中へ飛び込んだ杉山さんの迅速かつ的確な行動が、傷病者の一命を取り留める一因となったもので、その功績をたたえ幸田町消防長から感謝状を贈呈しました。

杉山さんは「無我夢中でした。元気に通園していると伺いそれだけで胸がいっぱいです」と語っていました。



▲感謝状を受け取った杉山峰子さん

身近な情報を広報へ

地震に備え今すぐにできること

幸田町危険物安全協会設立40周年記念特別講演会

5/26

幸田町危険物安全協会設立40周年記念イベントとして、福和伸夫名古屋大学減災連携研究センター長の講演会が町民会館つばきホールで開催されました。講演は「大地震を前に見たくないものも直視して地域産業の強靱化を！」と題して行われ、近いうちに必ず来ると言われている東南海地震への備えについて、家具の転倒防止などすぐにできるけれど、意外とやっていない身近な備えをすることの大切さなどについて話されました。



▲福和伸夫センター長



▲講演会の様子

ものづくりに夢中

少年少女発明クラブ

5/28

平成29年度第1回少年少女発明クラブを中央公民館ホールで開催しました。第1回は工作の基本となるカッターナイフの使い方を学ぶため鉛筆削りに挑戦。クラブ員は慣れていない様子でしたが、集中して取り組んでいました。その後、カム機構を利用した動くおもちゃの作成を行いました。少年少女発明クラブには町内外の企業や大学から有志で21人の講師が参加しており、この日は11人の講師が、出席したクラブ員45人の指導にあたりました。



▲カッターナイフでのえんぴつ削りに集中



▲指導を受けながら工作に取り組むクラブ員

地域との「絆」を大切に

幸田町商工会青年部「絆」感謝運動

6/6

商工会青年部全国統一事業「絆」感謝運動が実施され、幸田町商工会青年部のメンバーが町内保育園・幼稚園の園児に交通安全啓発の風船を配りました。青年部部長の近藤隆憲さんは「今日は活動を通してたくさんの園児たちの笑顔に出会うことができました。その笑顔を守るためにも交通ルールをしっかりと守って交通安全に気を付けてください」と園児たちに語りかけていました。



▲園児たちに風船をプレゼント



▲園児と記念撮影をする商工会青年部の皆さん(わした保育園)

まちがと
フォト
ニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX(63)5139

広報直通ダイヤル(63)5132